



大西 議員

## ハザードマップの見直しは

町長 国の計画と整合性を

図っている

### 安心安全なまちづくりに おける防災体制

考えにくいのですが、これについても進捗状況をお聞きします。

**質問** 北海道各地で甚大な被害をもたらした台風10号は、下川町でもかなりの被害があったわけですが、早急に防災対策本部を立ち上げ、町職員の皆さんも昼夜を問わずパトロール、情報収集、排水作業などに御尽力されたことは大変評価できるものと感じています。

**町長** 現在、国におきましては100年に一度の降水量などの基準の見直し作業が行われているところで、それらの基準変更の進捗状況を加味しながら、国の計画と整合性を図って地域住民の皆様

計画と整合性を図りながらというような答弁がありましたけれども、これが成さなければ下川では何もできないというか、ハザードマップを新たにこれだというものができないというふうな考えなんでしょうか。

昨年9月の一般質問で、町民の避難場所、避難経路などを記したハザードマップの見直しについても質問させていただきました。

「災害時に、自身の身の安全を守る行動」に最大限役立つよう、より現実的でより安全が確保できるものに見直したいと考えているところです。

**税務住民課長** 国の言うとおり、道の言うとおりをやっているならば、避難するときに安全に避難できるかといったらそういうわけではありませんので、やっぱり現場の地域住民の皆さんがどういうふう

に避難するか、現場が最重視だと思います。今後、ハザードマップを作成していく上では、

大きな災害、国が今100年に一度という想定は、下川町内では3日間に244mm以上の雨が降ることを想定したものです。これの見直しが今行われておりまして、来年の3月を目途に見直しの数字が出てくるのではないかと思います。大きな災害プラス今後は名寄川等々の樋門が閉まった場合に内水氾濫等々も懸念されますので、そういった一地域、一集落といったような細かい避難みたりなどいかなる対応できるようななかたちで、現場を重視した見直しをしていきたいと考えます。

で、来年の9月に私がまた同じような質問をしながらもいろいろな質問をしながら実現していただきたいと思っております。消火栓にしても、町民の生命と財産を守るための対策はいくら早くてもいいんです。スピードを持って今後も問題箇所を見極めて素早い対応ができますよう御尽力していただきたいと切に思うところです。

町が見直しについてまだ手を付けていないとは

**再質問** 国の基準変更の進捗状況を加味し、国の

重視だと思えます。

**再質問** 私の今回の一般質問は、昨年の一般質問の追跡質問ということ

